

磐城大衆新聞

毎月二回一日十五日
定部 十錢
廣告料(一)行五十錢
廣告料(場所指定)十錢増
發行兼編輯印刷人
長谷川兵衛
福島縣平町町大衆新聞社
發行所 磐城大衆新聞社

平町四丁目
電話四〇番

協同の精神

協同の精神とは社會全體のためになる場合には直ちに進んで相互に協力する道徳心である。この道徳心が欠乏すると、一面に悪い者があつて悪い行ひをして、また他の一面には、誰かが立つて悪い者を退治しやうとした時他の人々がこれを見棄て、顧みぬため世の中に正義の光が輝かぬことになる。人は己れのみ正しくしたとて人たるの本分を盡したるものとは言へぬ。己れを正しくするのみならず、他人を正しくしなければ、結局世の中では止しからざるもの、ために多くの止しき者が常に苦しみぬるゝ事となる。世の中に騒動が起つて秩序の亂れるのは多く悪い行ひをするものを世の中の人々が協同して正しからしめぬがためである。この点に於て吾が國民は最も反省せねばならぬ。吾國と雖も善人は悪人よりも遙かに多い、然し協同の精神に缺けて居るため所少數の悪い者が跋扈し多くの善人が苦しめられて居る。若し我が國民にして協同精神をいよいよ強ければ、現在吾が社會に於けるが如き幾多の不正な行ひが容易にこれを匡正する事が出来る。

他方寄生消費の平町より

自力創造生産の近代都市へ

然るにこの事が行はれる場合が武家政治の下に於ては當時の權平町自力生産の商品は殆んど見多めである。吾が國民が協同の力者が人民の行ひを取締るに余當らず、東都最新流行の衣裳と爲めである。吾が國民が協同の力者に峻酷を極めたるため、非凡高價なる裝飾品と、珍奇なる洋精神に乏しいのは多年封建制度なる犠牲心を有する人にして初菓子等の陳列を見せらるのみ。の下に壓迫されたる結果であつて正義の爲めに立つて戦ふ事、吾國の歴史を見ても個人的が出来たか、尋常の人は恐れて、正義の爲め犠牲になつた例が少なく、彼の佐倉宗五郎の如き。今日に於ても尙ほ協同の生産消費の生活方針であつてはなきその顯著なる一例であるが、精神が吾が國民に乏しいのは、正しき目的のために團體的に協同に起因するものである。同じ働いた例は少ない。これ

平町は環境の天恵豊富である。總額何程なるかを考察するならば、近接の農村は生産過剰の農産物は、その貧弱なる生産力と僅少を供給し、又磐城七濱は太平洋の鮮魚を安價に供給し、更に常磐の五大炭礦は、所謂「炭礦景氣」を持ち來らし、殊に現下の如き炭界好況時代には黄金の雨を降らしてやまぬ。平三萬大衆は、農産、海産、礦産の豊かなる天産に恵まれて極めて呑気に苦勞なく暮す事が出来る。

福島農工銀行

重役 諸橋久太郎氏



諸橋久太郎氏

一般庶民大衆の金融機關として信用組合にその使命重大である磐城に於ける財閥の第一人者諸橋久太郎氏は店頭より立ち上つた生活方針を没却して、他方本願の寄生的生活群を發見するに至る。試みに平町役場發行に係る「平町政要覽」を通觀して平町は何物を生産し、而して生産物の店主である、その最新經濟智識に第一に立つて一刻の怠慢な

片倉磐城製糸工場程度の生産工場が十個所位創設せられ、中産階級以下の徒食寄生の青少年を生産に勤勞せしむる様地元企業家、金融資本家等の奮起を熱求する、現下の平町は安價なる享樂生活に憂き身をやつし徒食寄生する青少年群の過剰に苦しむ。又一面私財の山積に狂奔して土地併合と田畑私有兼併に血眼に店舖を列べて商品を買積するがなる富豪の搾取に窒息してゐる。

全神經を緊張させ全生命を躍は蓋し郷土實業家の活模範とし、動させて經濟戰に健闘する雄姿を推稱措かざるものである。

恩惠的人物 酒井氏を禮讚す

大敷網の事業行はるゝや本縣漁業上に於ける一大躍進的魚獲の上の碑益は遂行され今日に至る盛因をなすに至りし事は周知の事實なるが、斯の第一開拓者である人に豊間大敷網事務所の酒井、遠藤の兩恩惠的人物あることは滅却出来得ないのである。今や隨所に此の事業行はれつゝあり、一般漁業界を賑はしてゐるが、此の事業界のための興始者である兩氏の功績こそは將來に永遠に燦として輝くことであらう。

更生途上の大野村 吉田村長の熱ある努力!!!

再度村民大衆の信望を荷ふて村て好評噴々である氏は眞に醫師長に重任された人格者吉田盛次らしき風姿の持主にして懇切町氏、助役荒川氏、収入役草野新寧幾多の重病者の起死回生せし力の下に村政の發展と向上に努めてゐる吉田村長の指導的力量と其熱ある斷行には村民一同は感激し感謝に溢れてゐる平和な大野村の前途は洋々たるものであらう。

吉田醫院

刀圭界の新人吉田氏は警中出身の秀才で本郡大野村の人、氏は最新の醫術と優秀の技術とを以て

大衆片々
△△△△卑劣な社會に魔手を現す某新聞記者、最近同業者のデマを報導して偉がつて居る。△△△△の假面を剥ける某君の態度こそ非道なりと、時來らば暴露せん乎。△△△△の驚く勿れ一ヶ月の収入數百圓也、某炭社長○○○圓○○大

暑中御伺
福島縣双葉郡廣野村
大字折木折木礦泉
つるや主 渡邊要

礦泉案内
本町より一里半
自動車あり
玉山礦泉
(古名鹿ノ湯)
藤屋、石屋、玉屋
延享元年開泉
白岩 礦泉
昭和八年開泉
平町五丁目
山野邊藥局

セメント 機械製作販賣
日本型 最新型 各種
洋型 (御一報次第型録呈上)
福島縣四倉驛前
萬年瓦工業株式會社
電話三八番

政治家○○○圓、其の數字果して實實でデマではあらんか。○賢明なる頭痛の持主新聞記者君には二度(ピククリ)月末に數十人の商人の注文取りに實に驚くコレモデマ、か果して實か。○反逆兒と斷定して○○連を葬らんとした○一派の奇策陰謀も何等の反響効果なし。○デマ自稱記者に注意するが



▲御盆前に現はれた新妓品澤から文若、福島から仲家の小清、御江戸は下谷池の端が前任地なぞうな。

▲或る惱みつゝある青年君に御答、小富裕を御心配様のようにですが、小富裕は本名山野邊とみ、本部豊間村大字沼之内字町五十一番地に本籍を有し、家族は現在小名濱、元谷口から鯛子一本に昇格して初子、夫れから新田町から仲家の福助と名乗り、功罪を貽して小名濱の港の若竹から福助と謂ふて船頭相手を奮闘する事五星霜、再度三度か開花から御とみさんならす小富と出た譯け、意味深長なるエピソードの所有者、芳紀當年廿九才の爛熟した年増様です。末永く御同情を願ひます。

▲何んぞか組の大頭で、花柳界の自稱通人、否自惚大政治家を氣取る〇さん、去る夜或る旗亭で頼る〇〇の御氣嫌、新妓を招んでモーション迄は無難、俺はエライだよ、俺れの手で〇〇した妓は何家の何妓と指折り数へたけ、御憤みなさいよ、如何にエロ街の紳士でも高ホキした自慢話してね。

▲某博士の夫人となつて幸福な生活を辿つてゐる〇〇君、奥様を解消して再度の左様との噂、誰れだ、後援會をつくるうではないかと心配してゐるの。

▲舊聞には屬するが盆の十六日夜、空玉で踊る迄の勇氣は好いが、踊見物人に變んな目で見えんな事したのは誰だ。田町妓の姑券に觸るぢやありませんか。

▲仲家の小清、轉任以來〇〇以上の熱を以て敵状を視察しつゝあるが、果して目標のバトロンを獲得出来るか否やかと御心配の殿方も三四人あつたかとはね。

▲岡惚した、年増藝妓に義理を立て戀女房を一寸と離縁の形式を採つた〇さん、夫れ程の情人藝妓を、アツサリと因果關係を解消して、御盆を越せぬとのドン底迄に蹴飛ばすとは冷酷な男だよ、詳しい事は三島家の金助姐さんに御聞きなさい。

▲眞佐の家富子君、相當の古顔の藝妓だよ、此頃トアル神社に毎朝の御参拜、何を御購ひすると問ふたら、材木の相場がよくなるヨリにですと〇〇目ターサン此の一言が御氣に入る事せうよ。

▲去る日夕刻、或る場所で人生意氣に感じ、我れに美酒と戀する藝妓ありと、盛んにメイトルを揚げ痛飲する事頻り。夫れ迄はよいとしても、紀念撮影を幾組をカメラに納めて、デレた姐さんあり。嬉しえ顔をした小松風の馬子の時子で、情は小松風の馬子の時子で、三〇〇番の時子君に尋ねたら親切に物語つて呉れとの噂。

▲舊い憶ひ出だが、或る料亭で蚊に喰れつゝ待つた色男のノイさん、此頃何んぞか云ふ自分にとっては懐しい名の藝妓と目露協定の互譲契約が成立して相當の程度の濃厚を示してゐる、處が何んぞ云ふ年増妓が、チンノ、妬くし、昔關係あつた再度妓ブノ、すに可なり面白珍現象を呈してゐるとね、水の流れど人の身は何んぞやらだ、アボの〇さんに聴けとさ。

●遠山稻吉氏
回氏は平町鐵工業者として事業隆々たる事と縣下に風靡し其事業の内容たるや模範とするに足るものである。先年古鍛冶町より現在の長坂に廣大なる理想的工場を建設し更に工員の増加を得て財界の沈静や工業界の不振をも物ともせず職工を指導し奮勵し協力同心を以て事業の向上に努力せられつゝある。今や其の勢力の進展と信望は旭日昇天の感あり。

●強口唯七郎氏
回人物と事業「夫れは偉大なる事業は偉大なる人物に據つて建築せられる」とは西哲の言である、我が強口氏は其の第一人者。氏は土木建築請負業者となり、水戸協會支部の設置する哉其の幹部になり鐵道建築工事の衝堂菓子店の主人である。氏は本に當り氏獨特の快腕を揮ひたり、過去に記録を有す、今や其の名聲實に隆々たり。濱三郡組合背景として「松月の菓子に限る」の好評を以て迎ひられつゝ、あ

●鈴木與市氏
回平町四丁目中央街に堂々たる店舗を有しヨロヅヤ商店の好評なる所以を列記して御紹介致さう。店主鈴木與市氏は頗る圓滿なる常識と明敏なる商才の持主である、數年前より自動車部を併置し本来の果物、野菜等の卸問屋としての大量取引を万洩な常磐地方切つて大手腕を發揮しつゝある、令息勇氏は商業學校出身の俊才で復た青年雄辯家として相當の其の存在を認められてゐる。此父にして此の子ありの如く父子協力の營業は益々其販路を擴大されつゝあるは當業者間の注目点となつて居る。切に御自愛を祈るものであ

●金子重次氏
回平町田町大通りに老舗の松月堂菓子店の主人である。氏は本に當り氏獨特の快腕を揮ひたり、過去に記録を有す、今や其の名聲實に隆々たり。濱三郡組合背景として「松月の菓子に限る」の好評を以て迎ひられつゝ、あ

●諸橋鐵彌氏
回平町の天地に幾多の醫院ある内に社會の全般より絶對の信望を一身に蒐めつゝある諸橋病院院長醫學博士諸橋鐵彌氏は平町新川町に這般單獨開業せるも頗る人氣よく毎日早朝より門前市をなすの繁忙、さすがは外科の大家である。是れは院長諸橋氏の人格の高潔と其の専門とする外科の學識に「臨床的實踐」に優秀なる技術の賜物であると好評噴々として無比の天地に人氣が充満して居るのである。

●高橋さく子女史
回小原流盛花の第一人者家元師範高橋女史は平町會議員高橋龜松氏の夫人にして大正元年より小原流盛花に精進努力して遂にその堂に達した。小原宗家の最高免許たる家元師範の榮位を得斯道のため盡力しつゝある高橋女史は平先出の師事協教授、準教授、正教授の資格免許を得今や數百名の門下生を有し斯道の爲め献身しつゝある。

●田邊忠藏氏
回氏は平町機械器具商として大成者である。氏は天資聰明幼より商業に志し奮然立つて古物商を開始し凡ゆる辛酸を嘗め人生の機械に通じ殆んど寢食を忘れ刻苦精勤營業の機密を知り後大成を期して家業の發展に努力し如何濶測たる青年の氏が、事凡て志に齟齬し日夜の精勵刻苦し水泡に歸する事一再ならざるも泰然自若不堯の勇猛を以て奮勵努力する事數年、遂に今日の富を得るに至つた。

●齋藤敏實氏
回有名なる三三三屋肉店主として偉大な巨額を提げ温顔に微笑して人に接する餘程心の優れる人なかでは氏の如く春風人に接する態度は修得し能はざるもの、氏はまた修練積める苦勞人である。農大出身の學者にして大店頭の經濟人である。

●河田梅吉氏
回平町鐵工業界の模範工場主は第一として我が敬愛する河田梅吉氏を指すものであらう。幼年時代より鐵工業の有望なる事を看破する氏は各種鐵工場に入り唯に其研鑽怠なく克く其業に通じるに至りて釜清工場の後を譲り受け一時頗る不振に陥りたるも氏の縦横なる才腕を發揮徐々其の回復に努め今や縣下工業界を風靡するの隆盛を見るは蓋し氏の達觀せる所謂業眼と店員以下従業員との協力一致茲に河田王國の創建せしめたものであ

●長島菊苗氏
回氏は大正九年仙臺商業機械科を卒業、更に進んで九州帝大に電氣工學を修め、入山探炭に技師として奉職した。後大正十三年平町に現在の日東商會を起して實業の人となつた貴公子然たる風平の持主にして獨特の營業手腕を有し、科學人であると共に經濟人であり又半面は多感の文人氣質である。最近平町二丁目目坂の場所を堂々たる店舗を新築し一層業務の増大を計つてゐる。

●當選御禮
福島縣農工銀行
取締役 白石禎美
取締役 八田宗吉
取締役 馬場房時
取締役 根本祐太郎
取締役 諸橋久太郎
取締役 佐藤利助
取締役 佐藤益五郎
監査役 大木代吉

釜屋
商店
九九・九話電